


ビル用セメント系下地調整塗材  
**ロイヤルミックス #30**  
(全ての仕上塗材・タイル下地調整用)

～健康的で安心な自然素材を絶妙にブレンドしたプレミックス材～

 **JIS A 6916**  
認証番号  
平田工場 TC 02 08 009  
京都工場 TC 05 08 013  
岡山工場 TC 06 08 016

**【ロイヤルミックス#30】**

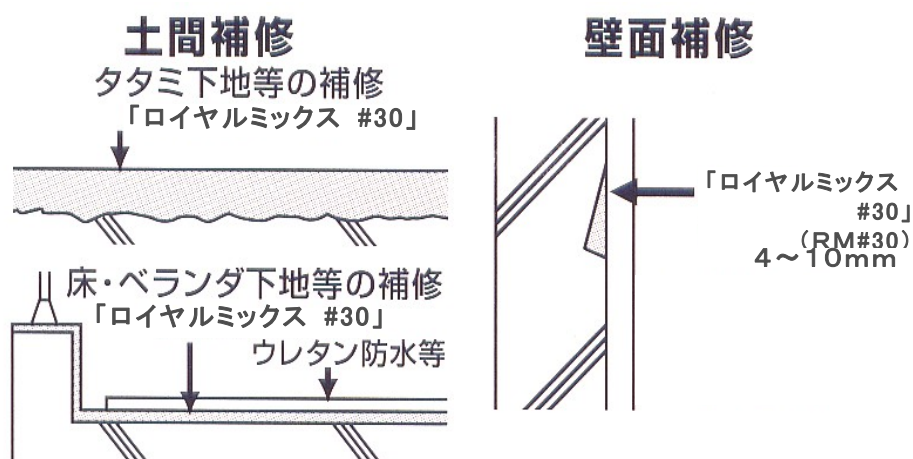
日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0710050
放散等級表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

## 〔目 的〕

この施工マニュアルは「ロイヤルミックス#30」(RM #30)をコンクリート下地に厚さ4～10mm程度で塗付け、全ての仕上げ塗材・陶磁器質タイルの下地となるように仕上げる内外壁工事に適用する。

## 〔用 途〕

コンクリート下地補修・タイル下地補修・ALC目地補修・土間補修



## 〔規格・法令〕

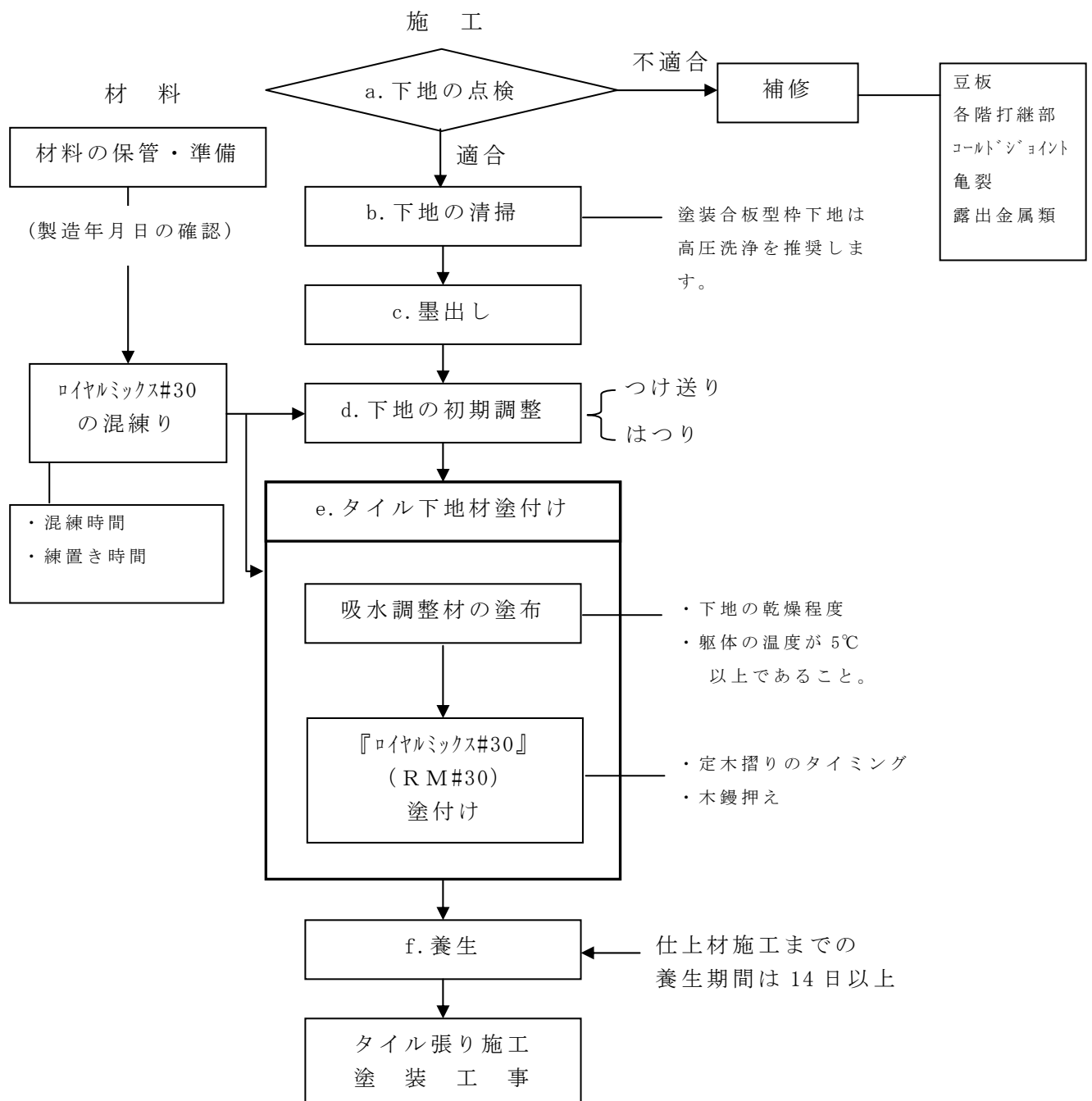
「ロイヤルミックス#30」は、JIS A 6916:2000 (建築用下地調整塗材) に (新JIS制度) おいて全ての仕上げ塗材・陶磁器質タイル貼りの下地に適用する JIS 認証製品です。(CM-2)

## 〔調 合〕

ロイヤルミックス#30	25 kg / 袋
清 水	約 6.3 ℓ

練り上がり量	:	約 20 ℓ
標準塗厚	:	約 4～10 mm
(JIS 規定塗厚)	:	3～10 mm (区分/CM-2)
標準施工面積	:	約 4 m <sup>2</sup> / (5 mm厚 / 1袋)

# [施工工程]



タイル下地の拵えは、「ロイヤルミックス#30」を塗付ける前に、段差、目違補修されたモルタル面のひび割れ・浮きなどを点検し、浮きがあれば、これらをハツリ、塗り直すなどの処置を講じて下さい。

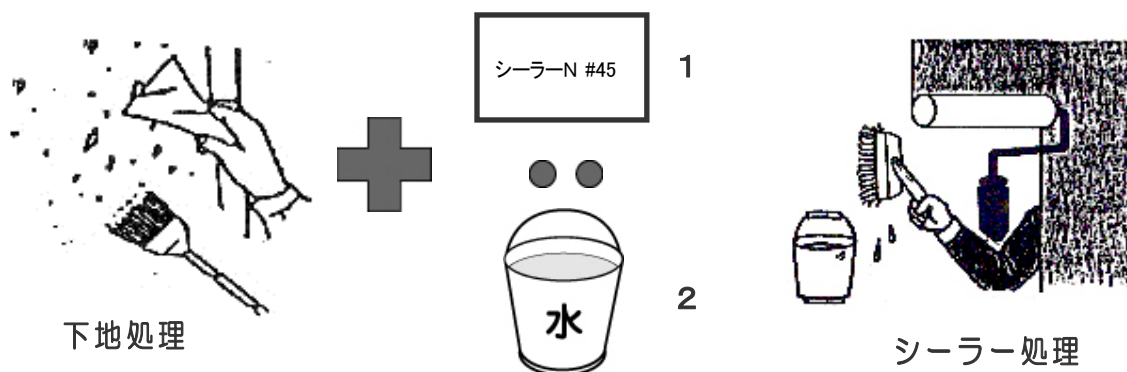
「ロイヤルミックス#30」の塗付けは、軽く塗付けると言った感じではなく、力をかけて下地に2～3mmすり込むように塗付け、ワンテンポ間を空けて（少し締まらせ）から所定の厚さに塗付けて下さい。

塗付け後、モルタルの締まり具合を見計らい、定木ズリを行ない、金ゴテや木ゴテで不陸のない平坦な塗面に仕上げして下さい。

## 〔施工方法〕

### ① 下地処理

- 1) 下地をよく点検して下地コンクリート面のレイタンス、埃、塵、油分を取り除き十分清掃して下さい。  
尚、塗装合板にて型枠をされた場合は脱型後、塗装材などが壁面に残着していると剥離などの原因になりますので高圧洗浄機などによる清掃を推奨致します。
- 2) 下地清掃後、「シーラーN #45」3倍希釈液で吸水調整材の塗布をして下さい。
- 3) 雨もれの原因となるジャンカ、豆板、コールドジョイント部は、あらかじめ「シーラーN #45」5倍液で混練りした「ロイヤルミックス#30・#300」で、塗付け補修して下さい。

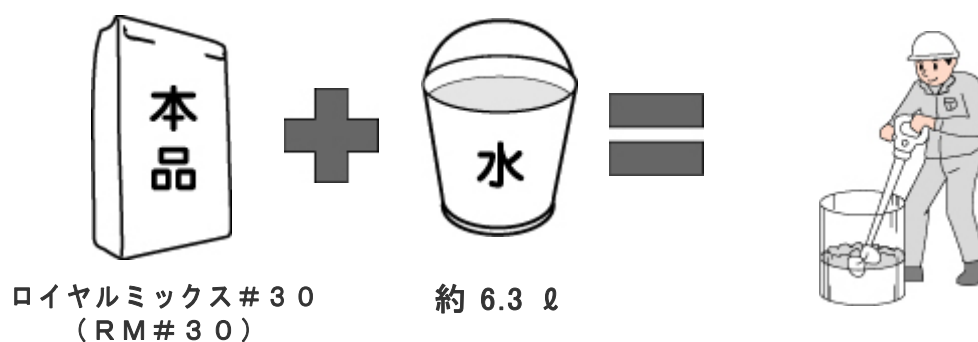


### ② 混練り

- 1) 標準水量の清水をバケツ他ミキサー等の混練り容器にとり、「ロイヤルミックス#30」を容器に加えながら混練りし、適度の軟度に調整してご使用下さい。

※ 固まりなどのない均一なモルタルにするため、少なくとも2分以上は混練りして下さい。

※ 規定水量以上の清水で混練りすると、品質基準の性能が維持出来ない場合があります、ご注意下さい。



### ③ 塗付け作業

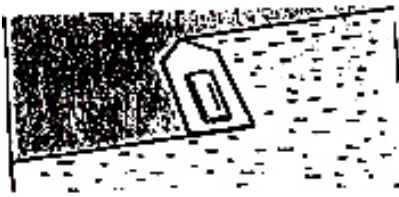
- 1) あらかじめ下地処理した施工面に、必ず「しごき塗り」を力をかけて下地に約2～3mm程度すり込むように塗り付けを行ない、ワシントンポ間を空けて（少し締ませ）から所定の厚さに塗付けて下さい。

※尚、塗厚が薄い場合でも「しごき塗り」はモルタルのエア膨らみや浮き防止、ダレの抑制にもなり付着強度の確保の為に必ず励行して下さい。

- 2) 水引具合を見計らい、平滑に仕上げして下さい。

※1回に塗り付けを行なう厚みは7mmを限度とし、それ以上の場合は、「ロイヤルミックス#300（RM#300）」を御使用下さい。

※乾燥の激しい場合は夏期施工翌日・冬期2日以後に散水養生を行なって下さい。



しごき塗り



ワシントンポ間を空けて、  
（少し締め後）の塗付け

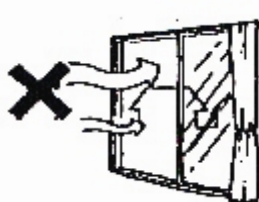
### ④ 養生

- 1) 施工時の養生

- ①寒冷期には、暖かい日を選んで施工をし、止むを得ず気温が5℃以下の時に施工する場合は、適切な保温対策を講じ、また、夜間の気温低下による凍害を受ける恐れがあるので作業を早めに切り上げ、十分な養生を行なうなど現場管理者と協議し、指示を仰いで下さい。
- ②夏期に屋外で施工する場合は、急激な乾燥を防止するためシート等で覆うなど適切な対策を講じて下さい。
- ③降雨・強風あるいは周辺のほかの作業により、塗付け作業に支障をきたす恐れのある場合は、作業を中止して下さい。

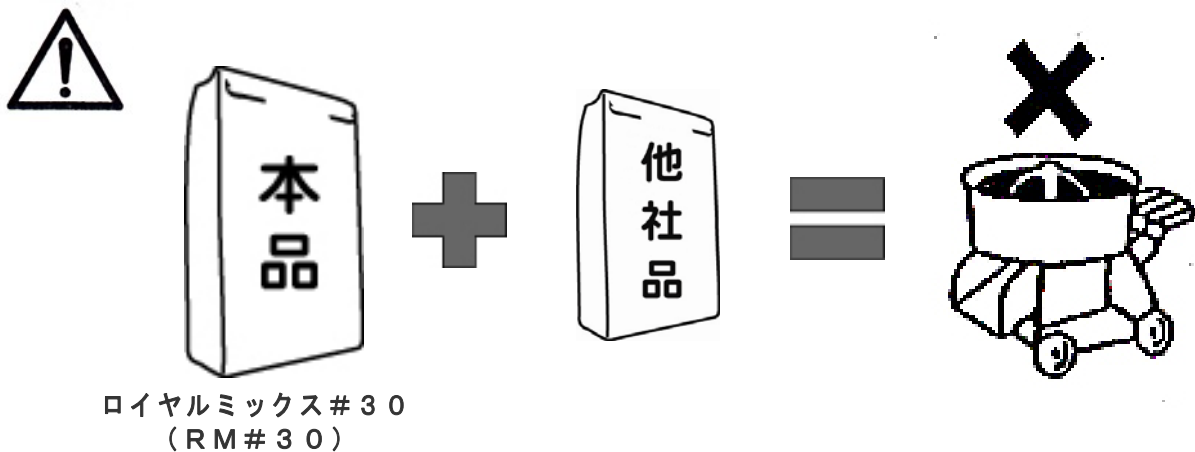
- 2) 施工後の養生

- ①塗付け後、早期に乾燥する恐れのある場合は、通風・日光を避けるようシート掛け養生など、適切な乾燥防止策を講じて下さい。
- ②冬期は、ロイヤルRM#30塗付け後、早期に降雨・降雪に遭うと白華発生の恐れがあるので、シート掛け養生など、適切な防止策を講ずる。尚、白華が発生した場合は、下記の処置を実施して下さい。
  - デッキブラシ、ワイヤーブラシなどで、できるだけ白華を除去して下さい。  
この場合、水洗いは、白華を再発する恐れがあるので避けて下さい。
  - 清潔な乾布で、残留する粉が手に付着しなくなるまで清掃して下さい。
- ③仕上塗材を施工するまでの養生期間は、通常約2週間以上を目安として下さい。

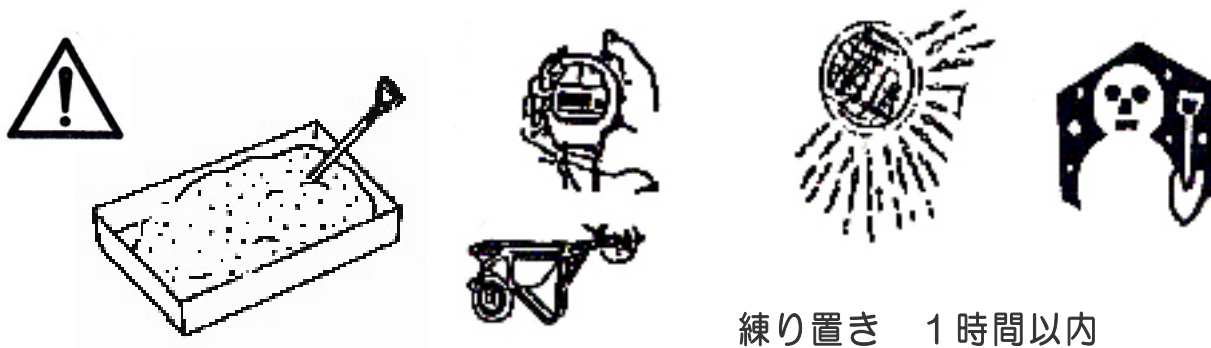


## [注意事項]

- 1) ロイヤルシリーズ製品は既調合品ですので他の材料を一切混入しないで下さい。



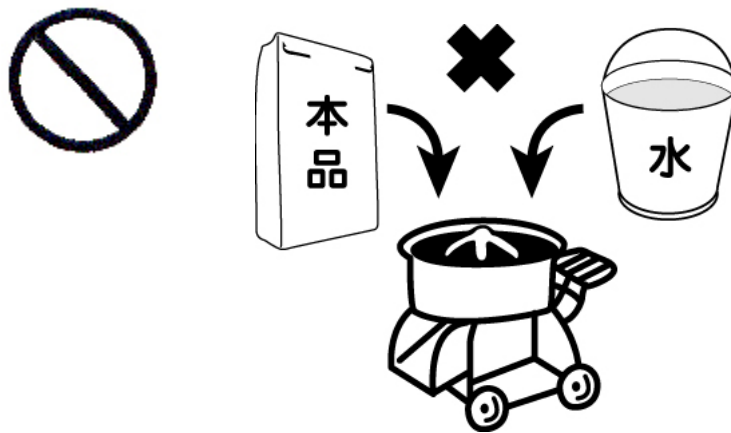
- 2) 練り置時間として、練り混ぜた材料は約1時間以内を目処に使いきるようにして下さい。



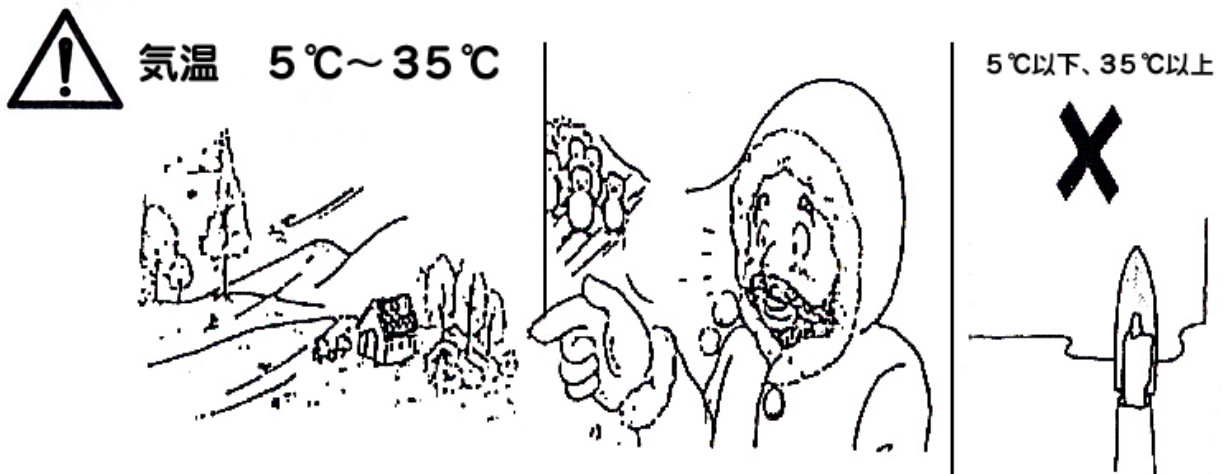
- 3) 塗厚が薄く乾燥が著しい場合は、夏季施工翌日・冬季2日以後に散水養生を十分に行なって下さい。



4) 練り足し、練り戻しは避けて下さい。



5) 本品使用時の施工は気温が  $5^{\circ}\text{C}$  ~  $35^{\circ}\text{C}$  の範囲内で行なって下さい。  
止むを得ず低温高温下で施工される場合は現場管理者の指示を仰いで下さい。



## 使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練り混ぜないで下さい。なお、混練りには水道水等の清水を使用して下さい。
2. 混練りした材料は約1時間以内に使用して下さい。練り足しや加水して練り戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が5℃～35℃の範囲内で行なって下さい。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から6カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. コンクリートブロックに施工される場合は各営業店にご相談下さい。
8. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

## 取扱い時の安全対策（概要）

### ・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取り扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

### ・ 応急処置

#### 〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低15分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

#### 〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。



### 〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

### 〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

### ・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

### ・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や混練り材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

### ・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー  株式会社 豊運



本社・営業本部 〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目12番4号

TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004 岡山営業部 TEL 0868-38-4001 FAX 0868-38-7022  
大阪営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133 京都営業課 TEL 0771-86-0711 FAX 0771-86-0811

URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

改訂 2013/05 第4版